

ボツワナ共和国月報(2025年2月)

主な出来事

【内政】

- クワペ前外務大臣、政界を引退
- ボツワナの汚職認識指数が再び悪化
- 大雨・洪水による災害

【外政】

- ボコ大統領、第38回アフリカ連合(AU)首脳会議に出席
- EU大使、ブタレ国際関係大臣を表敬訪問
- ザイオン・クリスチャン・チャーチ監督(Bishop)、ボコ大統領を表敬
- ボコ大統領、第1回SADC持続可能エネルギー週間へ出席
- 各国大使等、ボコ大統領に信任状を捧呈
- UN-Habitat代表团、ブタレ国際関係大臣を表敬
- ボツワナ政府、中国との経済・技術協力協定に署名

【SADC関連】

- EAC・SADC特別首脳会合の開催
- 第1回SADC持続可能エネルギー週間の開催

【経済】

- 2025/2026年度財政演説-新政権移行後最初の財政演説-
- 暫定国家開発計画(TNDP)の評価及び第12期(次期)国家開発計画(NDP12)
- 2025年第1回金融政策会合-政策金利を1.9%で維持-
- デビアス社との新たな協定
- 1月インフレ率
- 12月の国際商品貿易統計-2024年は通期で赤字-

【館内関係】

- 進藤大使の信任状写しの提出
- 天皇誕生日祝賀レセプションの開催
- 進藤大使の信任状捧呈

【内政】

- クワペ前外務大臣、政界を引退

クワペ前外務大臣は、ボツワナ民主党(BDP)の幹事長を辞任し、国立農業研究開発機構(NARDI)の職務に復帰した。クワペ博士は2019年にNARDIを休職し、第12国民議会(2019年~2024年)で活動していたが、今後はBDPの党籍は維持するものの、政治活動には関与しないとされる。BDPは2025年7月に党大会を開催する予定であり、それまで数か月あるが、暫定幹事長を任命するかは不明。

○ ボツワナの汚職認識指数が再び悪化

ボツワナは、2025年2月にトランスペアレンシー・インターナショナルが発表した2024年の汚職認識指数(CPI)ランキングで再び順位を下げた。スコアは前年の59点から57点へと低下し、180か国中43位となった。アフリカでは、ボツワナはルワンダと並び3番目に良いスコア(57)を記録し、セーシェル(72)とカーボベルデ(62)に次ぐ順位である。

○ 大雨・洪水による災害

22日、ボコ大統領は、ハボローネなどで発生した豪雨により2,994人が洪水の影響を受け、1,749人が避難を余儀なくされたほか、洪水により7人が死亡したと発表。政府として今後の被害を抑えるための即時対応を進めるとともに、同様の自然災害への備えを強化するための長期戦略を策定することを約束した。

【外政】

○ ボコ大統領、第38回アフリカ連合(AU)首脳会議に出席

15日～16日、ボコ大統領はアディスアベバ(エチオピア)で開催された第38回アフリカ連合(AU)首脳会議に出席した。同大統領は、開会式演説の中でボツワナの歴史的な政権交代について触れ、ボツワナがアフリカにおける民主主義の実現を証明する存在であると述べたほか、国内医療財政に関するハイレベル会合では国内財源を活用した質の高い医療の確保を提唱した。また、同大統領は、アフリカ全土でのマラリア対策を推進するアフリカ首脳マラリア同盟(ALMA)の議長に就任した。

ボコ大統領は、会合参加の傍らアハメド・エチオピア首相及びダンゴート氏(ナイジェリアの企業グループであるダンゴート・グループの創設者)と会談し、ボツワナとエチオピアの貿易・開発・地域安全保障の協力強化や、ボツワナとの経済関係拡大について意見交換を行った。

○ EU大使、ブタレ国際関係大臣を表敬訪問

19日、ペレイラ・EU大使はブタレ国際関係大臣を表敬訪問した。両者は、ボツワナ・EUパートナーシップ対話が経済成長や雇用創出を促進する重要な役割を果たしていることを認識し、地域及び国際的な課題に関する議論の場としての意義を確認した。

○ ザイオン・クリスチャン・チャーチ監督(Bishop)、ボコ大統領を表敬

21日、レクガニャネ・ザイオン・クリスチャン・チャーチ(ZCC)監督(Bishop)がボコ大統領を表敬訪問し、2024年総選挙における民主改革のためのアンブレラ(UDC)の勝利を祝福した。両者は、ハボローネを襲った洪水やその他の喫緊の国家課題について意見を交わし、危機時に希望と団結、実践的な支援を提供する教会コミュニティの重要な

役割を再確認した。

○ ボコ大統領、第1回SADC持続可能エネルギー週間へ出席

24日、ボコ大統領はハボローネにて第1回SADC持続可能エネルギー週間へ出席した。同大統領は基調講演にて、エネルギー安全保障の確立と持続可能なエネルギーソリューションの加速を訴えた。

○ 各国大使等、ボコ大統領に信任状を捧呈

24日、エジプト、ギニア、日本、ニュージーランド、ベトナムの大使がボコ大統領を表敬し、信任状を捧呈した。また、24日～25日、イタリア、エジプト、ギニア、コロンビア、チェコ、チュニジア、ニュージーランド、ベトナムの大使がブタレ国際関係大臣を表敬し、信任状の写しを捧呈した。

○ UN-Habitat代表团、ブタレ国際関係大臣を表敬

25日、シラ・国連人間居住計画（UN-Habitat）アフリカ地域事務所長率いる代表团は、ブタレ国際関係大臣を表敬した。UN-Habitatの訪問は4日間にわたり、持続可能な都市開発に関する様々な関係者との対話を目的としている。

○ ボツワナ政府、中国との経済・技術協力協定に署名

27日、ハオラテ副大統領兼財務大臣がボツワナ政府を代表し、ファン・中国大使と経済・技術協力協定に署名した。同副大統領は、2018年以降、中国からボツワナに対し総額11億2,200万プラ以上の無償資金協力が提供されていることを強調し、ハボローネのレゴロ道路やモパネ・ブロック8道路など、無償資金協力の対象として提案されたプロジェクトについて言及し、交換公文が締結されたことを報告した。ファン大使は、中国は今後もボツワナへの支援を継続し、可能な限りの分野で協力を提供すると述べ、両国の関係強化に向けた経験の共有に意欲を示した。

【SADC関連】

○ EAC・SADC特別首脳会合の開催

8日、ダルエスサラーム（タンザニア）において東アフリカ共同体（EAC）及び南アフリカ開発共同体（SADC）の合同首脳会議が開催され、コンゴ（民）東部の治安に関する共同声明が発表された。

○ 第1回SADC持続可能エネルギー週間の開催

24日から1週間、首都ハボローネにて、ボコ大統領、マホシSADC事務局長出席の下、第1回SADC持続可能エネルギー週間が開催された。同会議は、SADC地域全体の

エネルギー安全保障を改善するため、参加者による持続可能なエネルギーの実践を可能にする環境作りのための政策課題、地域規制の枠組み、エネルギープロジェクトの資金調達などの議論が行われた。

【経済】

○ 2025/2026年度財政演説-新政権移行後最初の財政演説-

9日、ハオラテ副大統領兼財務大臣は、UDC政権となって初の財政演説を行い、次年度予算案を発表した。

次年度予算は、ガバナンス(汚職防止等)、規制改革、国営企業改革、経済多角化等を実現すべく①インフラの近代化と変革、②生活の質の向上、③イノベーションとデジタル・トランスフォーメーション(DX)、④民間輸出主導による経済成長の4分野を国家重点分野としている。①については、官民パートナーシップ(PPP)を活用した効果的な資源動員を通じた経済成長を促進等、②については、TVET(技術職業訓練教育)の推進、国民皆保険の実現、老齢年金の引上げや新生児手当支給など福祉の向上といった教育(職業教育)と社会福祉の一体的実施等、③については、デジタル・デバイド解消、官学連携を通じた起業エコシステム等の推進等、④については、中小企業(SMEs)による金融・市場アクセスへのボトルネック解消(規制障壁の撤廃等)、SADC域内貿易円滑化等を通じた起業家育成等が掲げられている。

他方、財政再建と不安定な経済情勢に対する財政緩衝を高めるため、徴税当局(ボツワナ統一歳入庁)の能力強化や法人税・所得税の引上げが提案されている。

(前年度・今年度決算及び次年度予算案概要)

2023/2024年度(前年度)予算収支(実績)は、111.1億プラの赤字(歳入:742.6億プラ、歳出:853.7億プラ)となり、ダイヤモンド市場の予想以上の低迷により、2022/2023年度(127万プラの赤字)より大幅の悪化となった。

2024/2025年度(今年度)予算収支(補正後見込み)は、247.3億プラの赤字(歳入:686.9億プラ、歳出:934.2億プラ)を見込む。これは鉱物収入の大幅な減少によるものである。

2025/2026年度(次年度)予算案は次のとおり。

歳入 754.9億プラ

(主な内訳) SACU関税収入:243.6億プラ、所得税(非鉱業):190.1億プラ、鉱物収入:157.5億プラ、VAT:121.0億プラ 等)

歳出 976.1億プラ

(主な内訳 経常(各種運営費・人件費)予算:726.1億プラ、開発(公共事業)予算:237.5億プラ)

○ 暫定国家開発計画(TNDP)の評価及び第12期(次期)国家開発計画(NDP12)

9日の財政演説において、ハオラテ副大統領兼財務大臣は、TNDP(2023年4月から2025年3月)に実施することとされた644件のプロジェクトの内、完了したプロジェクトは11.2%、現在進行中のプロジェクトは40.5%足らずとし、政府の実施能力に疑問を呈するとともに、予算編成にも悪影響を及ぼしていると指摘。同副大統領は、TNDPを2025年7月まで延長し、新政権の政策ビジョンの浸透を以って、NDP12の国会承認を目指す旨表明。

○ 2025年第1回金融政策会合-政策金利を1.9%で維持-

20日、ボツワナ銀行金融政策委員会(MPC)は、今年最初の会合を開催し、金利(MoPR)を1.9%で維持する旨決定した。当該決定に際し、国内経済は緩やかに回復するものの、需要主導のインフレ圧力は発生せず、インフレは同行の中期目標範囲内の3から6%に収まると予測している。

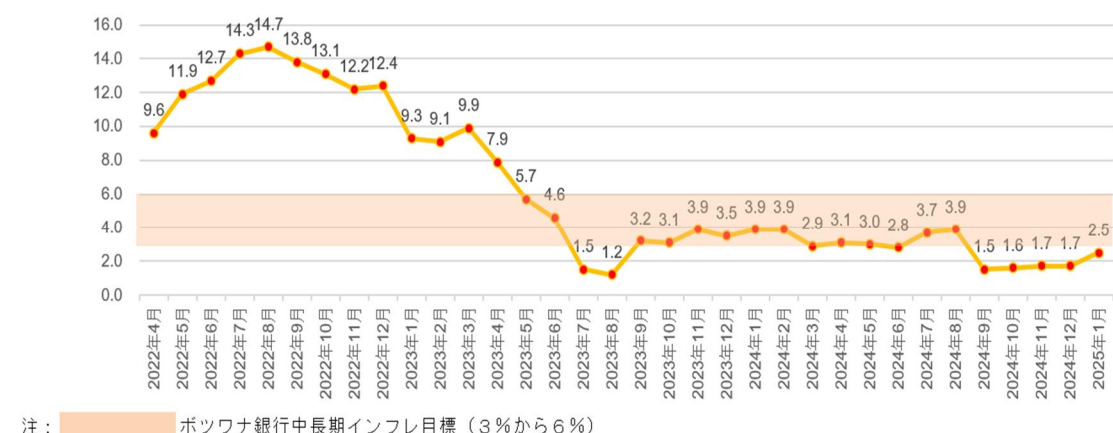
○ デビアス社との新たな協定

25日、ボツワナ政府は、デビアス社と新たなダイヤモンド販売契約を締結し、7年間にわたる交渉に終止符を打った。この契約により、デビアス社との合弁事業であるデブスワナ社によるダイヤモンド販売収入のボツワナへの配分が増えることになる。この新たな10年契約により、ボツワナ政府への配分は最初の5年間はデブスワナ社の売上高の30%で、次の5年間は40%に増加する。その後、5年間の延長オプションがあり、その後は売上高のシェアは50%-50%に分割される。一方、デビアス社はボツワナでの採掘ライセンスを2029年から2054年までの25年間延長する。

○ 1月インフレ率

1月の年間インフレ率(前年同月比)は2.5%となり、前月から変動なし。分野別寄与度は、上位から食品・非アルコール飲料(0.7%ポイント)、雑貨・サービス(0.7%ポイント)となっている。

(図: 最近のインフレ率の推移)



○ 12月の国際商品貿易統計-2024年は通期で赤字-

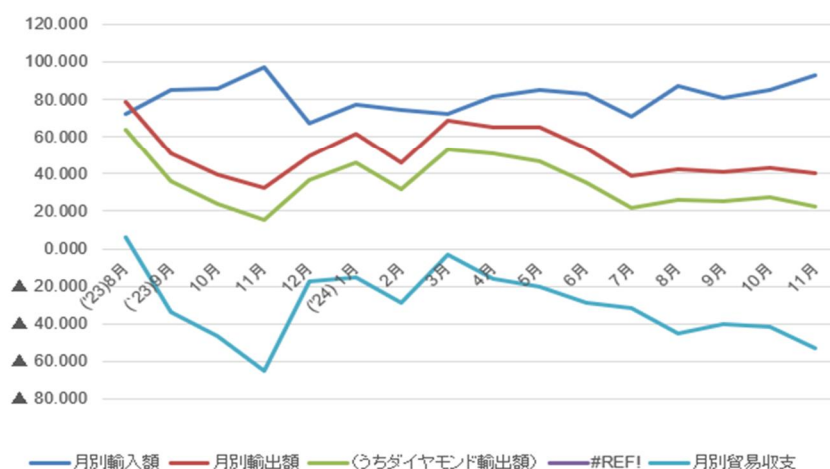
12月の輸入総額は79. 272億プラとなり、前月の93. 022億プラ(改定値)から14. 8%の減少、一方で輸出総額は、31. 177億プラとなり、前月の40. 218億プラ(改定値)から22. 5%の大幅減少となった(図)。この結果、同月の貿易収支はマイナス48. 096億プラの赤字となり、2024年は全ての月で貿易赤字を記録した(貿易赤字は2023年9月以降16か月連続。)

また、2024年の貿易額は、輸入額969. 429億プラ、輸出額596. 876億プラ、貿易収支は372. 553億プラの赤字(いずれも2024年12月速報ベース)となった。

(図: 月別貿易収支の推移: 2023年8月から2024年12月)

	(²³ 8月)	(²³ 9月)	10月	11月	12月	(²⁴ 1月)	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
月別輸入額	71.991	84.925	86.012	97.396	66.898	77.444	74.577	72.013	81.350	84.928	82.886	70.929	87.360	80.905	84.742	93.022	79.272
月別輸出額	78.364	50.980	39.459	32.434	49.466	61.897	45.567	68.681	64.989	64.951	53.832	38.943	42.460	40.829	49.333	40.218	31.177
(うちダイヤモンド輸出額)	63.815	35.998	24.185	15.282	36.332	46.231	31.835	53.354	50.537	46.681	35.043	21.728	25.957	25.452	27.054	22.510	17.283
月別貿易収支	6.373	▲33.945	▲46.553	▲64.962	▲17.492	▲15.547	▲29.010	▲3.332	▲16.361	▲19.977	▲29.054	▲31.906	▲44.900	▲40.076	▲41.410	▲52.804	▲48.096

注)2024年12月は速報値



(参考) 分野別内訳：上位5分野(%)

	1位	2位	3位	4位	5位
輸入	ダイヤモンド 23.3	食料品等 17.0	燃料 15.5	機械・電機 12.3	化学・ゴム製品 9.0
輸出	ダイヤモンド 55.4	銅 24.7	機械・電機 4.5	塩・ソーダ灰 3.7	生牛 2.0

(参考) 国別内訳：上位5か国(%)

	1位	2位	3位	4位	5位
輸入	南ア 54.5	ナミビア 22.0	中国 4.5	モザンビーク 2.4	カナダ 2.3
輸出	UAE 35.1	南ア 13.1	豪州 12.1	インド 11.6	中国 11.3

【館内関係】

○ 進藤大使の信任状写しの提出

7日、ボツワナで任務を開始する進藤大使がフェニヨ・ブタレ国際関係大臣を表敬訪問し、信任状の写しを提出した。

○ 天皇誕生日祝賀レセプションの開催

20日、小川伸参事官夫妻の主催により、天皇誕生日祝賀レセプションをアバニ・ホテルにおいて開催した。ハオラテ副大統領兼財務大臣、ケオラペツェ議長、ブタレ国際関係大臣その他閣僚、議会議員、政府関係者、当地外交団、学術・文化関係者や、当地で活動する企業及び在留邦人等、約110名が参加した。

○ 進藤大使の信任状捧呈

24日、進藤駐ボツワナ共和国 特命全権大使は、ボコ大統領に信任状を捧呈した。同大統領はボツワナと日本の長年にわたる温かい関係を称え、1966年から続く両国の二国間及び多国間協力の重要性を強調した。また、教育、医療、技術協力、貿易・投資などの分野で日本との協力をさらに発展させることへの期待を表明した。進藤大使は、最近のボツワナにおける洪水で亡くなった人々に哀悼の意を表し、避難を余儀なくされた人々へのお見舞いを述べるとともに、日本とボツワナの関係を一層強化し、両国の友好関係を更に深めたいとの意向を表明した。

(了)